

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	疾病発生の原因：疾患の原因として生物学的因子、化学的因子、物理学的因子などから起こりうる疾病について講義する。（担当:細川翔）
2回	先天異常と遺伝子異常：奇形の種類、染色体異常や遺伝子異常から発生する疾病について講義する。（担当:細川翔）
3回	代謝障害：細胞における種々の物質（糖質、脂質、蛋白質など）の代謝障害が引き起こす細胞障害（萎縮、変性、壊死など）とともに、波及して起こる組織障害の結果、発生する糖尿病などの疾病が、臓器や身体に及ぼす影響について講義する。（担当:細川翔）
4回	循環障害：虚血、充血、うっ血、出血などの種々の循環障害で引き起こされる細胞や組織の変化とともに、それらが原因で発生する疾患（血栓症、塞栓症、梗塞など）における細胞や組織の変化が身体に及ぼす影響について講義する。（担当:細川翔）
5回	炎症：炎症に関与する細胞とそれらの役割、さらにそれらの炎症細胞が身体の細胞・組織に及ぼす影響（炎症の種類）について講義する。（担当:細川翔）
6回	免疫：免疫の機構と関与する細胞の役割とともに、アレルギーが身体の細胞・組織に及ぼす影響（アレルギーの種類）について講義する。また、免疫不全、膠原病、自己免疫疾患についてその成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:細川翔）
7回	腫瘍：腫瘍の原因と発生機序、さらに腫瘍が身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:細川翔）
8回	各論 循環器：虚血性心疾患（狭心症と心筋梗塞）、心膜炎、脳梗塞、肺梗塞、動脈硬化、動脈瘤などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:則松良明）
9回	各論 呼吸器系：肺炎、肺線維症、肺気腫、無気肺、肺癌などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:則松良明）
10回	各論 消化器Ⅰ：食道静脈瘤、食道癌、胃の炎症、胃潰瘍、胃の異型上皮、胃癌、腸の炎症性疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎）、大腸癌などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:則松良明）
11回	各論 消化器Ⅱ：肝炎ウイルスの種類と急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変症、肝細胞癌などについてその成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:則松良明）
12回	各論 内分泌系：下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、膵臓ランゲルハンス島などの内分泌器官における機能亢進・低下症、腫瘍について、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:則松良明）
13回	各論 泌尿・生殖器系：腎糸球体病変、腎腫瘍、尿路上皮腫瘍、子宮癌、卵巣腫瘍、乳腺腫瘍などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。（担当:則松良明）
14回	各論 造血臓器系、神経系、感覚器系、運動器系など：白血病、リンパ節の非腫瘍性疾患、悪性リンパ腫、脳梗塞、くも膜下出血、アルツハイマー病、脳腫瘍、糖尿病性網膜症、骨肉腫、悪性黒色腫などについて、その成因と身体の細胞・組織に及ぼす影響について講義する。
15回	病理組織標本作製手順：病理組織標本作製に必要な固定、脱灰、包埋、薄切、染色等について講義する。（担当:則松良明）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
受講態度(10%)と筆記試験(90%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	[看護学科]大橋健一・谷澤徹・藤原正親「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学」(医学書院)
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

資料ファイルをE-studyに掲載します。必ず資料と教科書の該当箇所を熟読して理解できていない部分を明確にして授業に臨んでください。

関連科目

前科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ	146	人体の構造・機能Ⅲ	147	人体の構造・機能実		
後科目	407	病理学	408	病理学実習						

実務家教員

臨床検査技師（医療機関）	則松 良明	細川 翔						

備考

授業前に配布している資料ファイル(E-study)を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください。